

# 青青会

令和元年九月二十九日(日) 午後一時半開演  
杉並能楽堂

大蔵流狂言 第六十四回 ◆入場料 全席自由席(見所は座敷です) 一般 2000円 学生 1000円

一般財団法人 杉並能楽堂主催



## ◆ 次回公演のご案内 ◆

山本会 令和元年 11月3日(日)  
午後1時半開演(12時半開場) 杉並能楽堂

Suginami Nohgakudo

杉並能楽堂

十貫坂上

※駐車場はございませんので  
車でのご来場はご遠慮下さい

中野通り

マルエツ プチ●

●和菓子店

タバコ店●

●クリーニング店

寿橋



中野富士見町駅

Nakano-fujimicho Sta.

東京メトロ丸ノ内線 中野富士見町駅より徒歩5分

杉並能楽堂

〒166-0012

東京都杉並区和田 1-55-9

TEL 03-3381-2279

表紙 立浪(山本東次郎家所蔵 肩衣より)

Photo: Yoshiaki Kanda

## 《 あらすじ Stories 》

◎ 悪太郎(あくたろう)

酒癖が悪く、大酒を飲んで乱暴を働く悪太郎、伯父にたしなめられて断酒を誓うが、これが最後と飲んだ酒で酩酊し、往來の真ん中で寝込んでしまう。心配して様子を見に来た伯父は腹に据えかね、泥酔している悪太郎の姿形をすっかり変えて、「日頃大酒を好み、悪逆をするによって、今この体になす。今日よりしては汝が名を南無阿弥陀仏と付けるぞ」と言い残して去る。目が覚めて自分の変わりように驚く悪太郎、そこへ「南無阿弥陀仏」と唱える声が聞こえてくる。



山本東次郎家所蔵 装束文様



# 青青会 番組

富士松

シテ（太郎冠者） 山本 則秀

アド（主） 山本東次郎

狐塚 小唄入

シテ（太郎冠者） 山本 則孝

アド（主） 若松 隆  
アド（次郎冠者） 山本凜太郎

—— 休憩 ——

悪太郎

シテ（悪太郎） 山本 則重

アド（伯父） 山本 則俊  
アド（出家） 山本東次郎

## お 話

山本 東次郎

### ◎富士松（ふじまつ）

たった一人の召使い・太郎冠者の無断欠勤に怒って、家まで押しかけた主人、しかし富士参詣をして来たと聞いて許してやることにする。太郎冠者が持ち帰った見事な富士松（落葉松・カラマツ）に目を付け、譲って欲しいとねだった主人だが体よく断られて意地になり、何とか手にいれようと、山王参詣に太郎冠者を誘い出す。そして道中、句の付け合いをして、それに勝ったら松を手に入れるぞと、太郎冠者に発句する。

### ◎狐塚 小唄入（きつねづか こうたいり）

今年は自分の田に特別稲が良く実って機嫌の良い主人、しかし鳥が狐塚の田を荒らすので鳴子を鳴らして追い払うよう、太郎冠者、次郎冠者に言いつける。人里離れた狐塚で群がる鳥を懸命に追う二人、日が暮れた頃、重労働した召使いたちをねぎらおうと主人が酒を持って狐塚にやって来る。ところが悪い狐が出ると聞いていた二人は、狐が主人に化けてだましに来たと思い込み、騙されたふりをして狐の正体を暴いてやろうと考える。